

家政技術分類表 (C H E) による家政学雑誌研究課題の要素技術連関 (3)

大妻女大家政 ○岡田安代 大竹智恵子 大森正司 安田順子,
 岐阜大 長野宏子, 東京農大 加藤みゆき 吉村典夫, 大妻高校 吉田しげ子

目的 昨年度の大会において、家政学雑誌における研究課題を、科学技術分類表 (C S T) を用いて分析し、研究課題の時代的変遷の特徴、および要素技術連関について報告した。今回の研究は、家政技術の分析に用いるため新たに作成され、その有用性が確認された C H E を用いて、研究課題における要素技術連関を解明することを目的とする。

方法 前報に準じてインデクシングを行い、その結果を分類集計機パスキーを用いて集計した。生活技術については、小項目レベルでの要素技術連関を解明するとともに、著者の所属機関別の検討も行った。

結果 1) 生活技術に関する要素技術、特に、食物、被服関係は研究課題も多かったため、要素技術も多く出現しており、中でも、物質製品、物質製造との連関は高く認められた。2) 食物、被服に関する素材の扱い方は、生活技術に関する要素との連関が概して高く認められたが、C H E 生活技術内で多少のかたよりが見られ、更に C H E に改良を加えると同時に、要素技術連関から、家政学における研究の実態を検討中である。